

5. 事業成果報告会

「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」
ファッション分野における職業実践専門課程の質保証の評価を推進する事業
事業成果報告会開催概要

日時：2015年2月27日（金）14：00～15：30

会場：アルカディア市ヶ谷

内容：

1. 開会挨拶 委員 文化学園国際ファッション産学推進機構 川合直
2. 委員紹介
3. 基調報告
事業の概要と第三者評価の基準の構築および実施について
事業責任者 文化服装学院事務局長 横倉孝
4. 事業取組状況報告
アンケート結果と広報物について
事務担当者 文化服装学院事務局教務二課長 小林克也
5. 質疑応答
6. ご講評
文部科学省 生涯学習政策局生涯学習推進課
専修学校教育振興室専修学校第一係長 春田鳩磨 様



平成26年度 文部科学省委託事業



ファッション分野における
職業実践専門課程の質保証の評価を推進する事業
成果報告会

学校法人文化学園 文化服装学院

本事業の概要・目的

職業実践的教育の強固な体系構築は、日本の経済再生、成長のキーストーンである。

産業界のニーズに即した柔軟な職業教育はアカデミックプログラムを学ぶ大学教育とは異なり、専門学校最大の強みであり、将来有望な専門人材を育てるためにも職業実践専門課程における取組を推進、発展をさせていくことが求められている。

本事業では、同課程のファクション分野における先進的な教育課程を編成する体制構築を実施するとともに、質の保証・担保に係る評価基準の構築、教員研修モデルプログラム構築を目指し、その成果を広く周知して、実践的職業教育のさらなる発展を狙う。

本事業の概要・目的

1. 質の保証、担保となる評価基準の構築

先進的な取組の水準維持、向上を保証する第三者評価の評価基準の構築を目指す

2. 先進的な教員研修モデルプログラムの開発と実証

実践的で高い教育水準を維持するため、教員の専門知識、実務レベルを習得・向上を促す
先進的な教員研修モデルを開発し、実証する

3. ファッション分野における職業実践的な 教育課程構築のための体制を構築

本事業の概要・目的

4.産業界・関連団体に向けた

職業実践専門課程への認知(広報)・理解の促進

5.職業実践専門課程認定学科を持つフアッション系 専門学校に対する実態調査実施

事業を構成する委員会と平成26年度スケジュール

合同委員会

- 委員全員により、主に第三者評価の検討を行う。特に第三者評価の基準項目の検討とアンケートや発行物へのアドバイスと承認を行う。

2014年7月30日 第一回合同委員会
顔合わせ、事業実施について

2014年10月2日 第二回合同委員会
産業界・関連団体への認知、専門学校への実態調査、教員研修モデルの開発

2014年10月31日 第三回合同委員会
広報物、アンケート、第三者評価

2014年12月5日 第四回合同委員会
広報物、アンケート、第三者評価、成果報告会

2015年1月27日 第五回合同委員会
第三者評価案について、成果報告会、第三者評価委員会

2015年2月 第六回合同委員会
第三者評価案の承認、アンケート集計結果、成果報告会、第三者評価

分科会

- 参画企業、団体、学校より検討事項について提言が可能な担当者等に参加を依頼する。
- アンケート・発行物の検討や、第三者評価案作成における、各論等について意見交換を行う。

2014年10月17日 第一回分科会

2014年11月 第二回分科会

2015年1月20日 第三回分科会

平成26年度 成果報告① 第三者評価基準の構築

8つの基本項目から成る評価基準を構築

- ▶ 1. 教育理念
 - 教育理念
- ▶ 2. 基本項目
 - 募集
 - 運営
 - 財務情報

詳細は
配布資料参考

平成26年度 成果報告①

第三者評価基準の構築

- ▶ 3. 教育活動
 - ・教育目標・人材育成像
 - ・活動方針・計画
 - ・教育課程編成委員会
 - ・連携授業と連携教育
 - ・教育内容・評価等(共通項目)
 - ・教育内容・評価等(個別項目)
 - ・特色ある教育
 - ・教育設備
 - ・目標の設定

平成26年度 成果報告①

第三者評価基準の構築

- ▶ 4. 学習成果
 - ・就職・就職率
 - ・資格・資格取得率
 - ・成績評価・単位認定等
 - ・学習成果
 - ・卒業生社会的評価
- ▶ 5. 教員の質の保証
 - ・教員・教員組織
 - ・教員評価
 - ・教員研修

平成26年度 成果報告①

第三者評価基準の構築

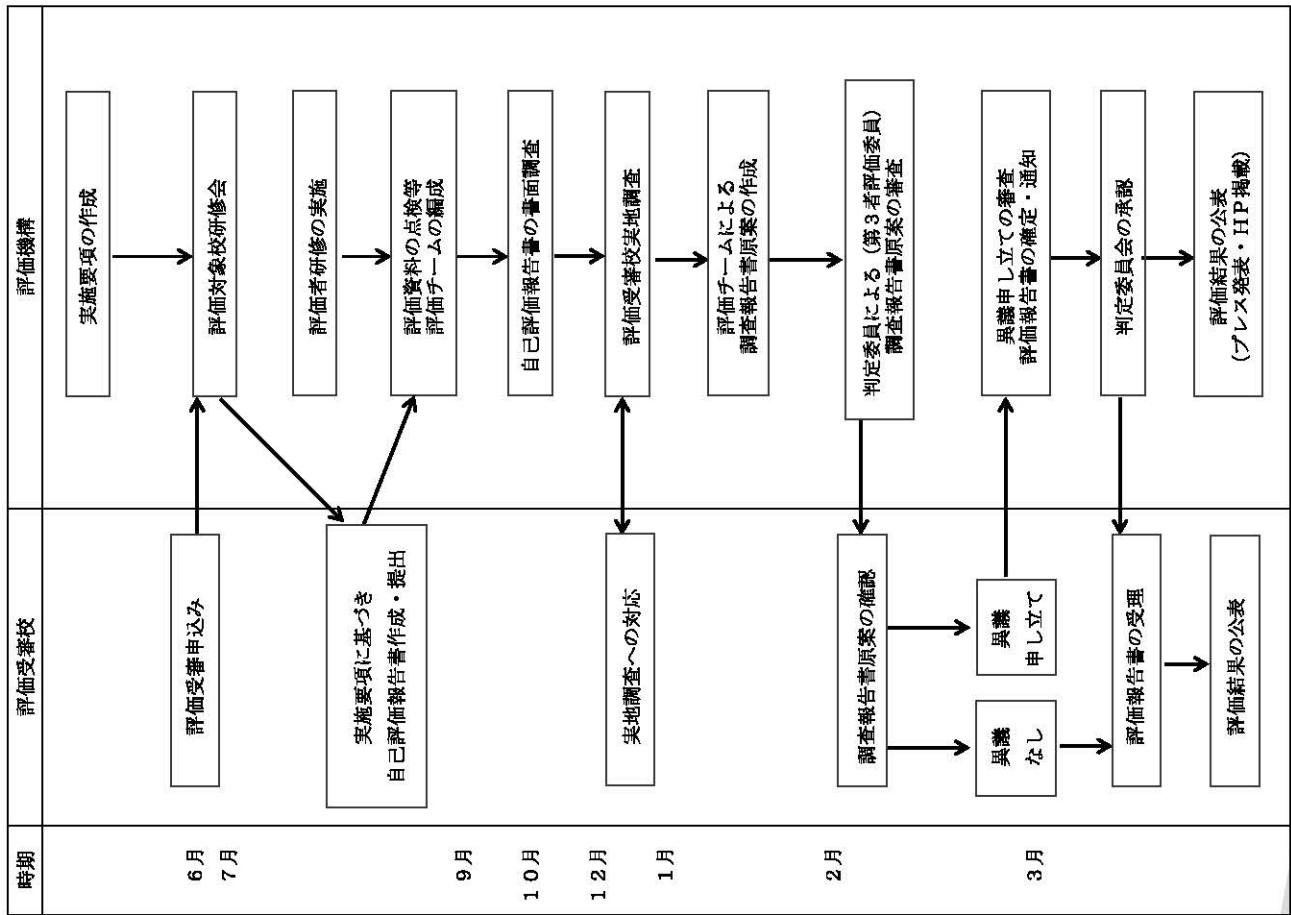
- ▶ 6. 学生支援
 - ・就職
 - ・中途退学への対応
 - ・学生相談
 - ・学生生活
 - ・保護者との連携
 - ・卒業生・社会人
- ▶ 7. 教育環境
 - ・防災・安全管理

平成26年度 成果報告①

第三者評価基準の構築

▶ 8. 内部質保証

- ・関係法令
- ・個人情報
- ・学校評価
- ・情報公開



平成26年度 成果報告② 周知用広報物の作成

- ▶ 職業実践専門課程の認知度は低く、より認知されるためにも周知用
広報物を作成
- ▶ A3二つ折り・フルカラー・4ページ

◆配布先◆

フアッション系課程設置高校 約200校
フアッション関連企業 約700社

その他業界内会議・イベントでも配布

詳細は
配布資料参考

平成26年度 成果報告③ 実態調査アンケート集計結果

- ▶ **申請状況**
 - ▶ 申請用件を満たす学科の申請状況は、「認可済又は申請中」と「今後申請予定」の合計が7割弱となった
- ▶ **連携授業の評価**
 - ▶ 代表的連携授業については、学生・企業ともに好評
 - ▶ 学生に好評な理由は「連携企業の魅力」、企業に好評な理由は「学校との関係が密接になる」
- ▶ **教員研修について**
 - ▶ 実施した教員研修は「実務分野」「指導力分野」の両方を行うことが多い
 - ▶ 実務研修のみを行ったという回答は今回なかった
- ▶ **独自評価項目の設定**
 - ▶ 独自のフアッション分野に特化した評価項目を設定を行う学校は少ない
 - ▶ 設定をする場合は資格・検定の試験を利用されている
- ▶ **職業実践専門課程のPRの実施状況**
 - ▶ HPもしくは入学案内でPRしている学校が83%。PRをしていない学校は6%。

